

地域連携だより

病院の理念

4つの心

人権尊重の心
向上心

人間愛の心
奉仕の心

病院の基本方針

- 常に医療水準のアップに努め、安全・安心・信頼を要とした医療を提供する。
- 地域の医療福祉機関との連携を密にし、地域における中核病院としての使命・役割を分担する。
- 人権の尊重と人間愛を基本とした医療を行うと共に、社会保険病院としての使命に基づき、地域住民の健康・福祉に寄与する。
- 患者様・受診者様のニーズに応えた病院サービスを提供する。

目次

- 地域連携・総合企画センター開設のお知らせ
地域連携・総合企画センター長
内藤 浩……………2
- 大腸内視鏡の直接予約方法とフローシート
地域連携・総合企画課……………3
- リプロダクションセンター開設のお知らせ
リプロダクションセンター長
伊藤理廣……………5
- 増えている糖尿病患者
糖尿病療養指導士・外来看護科長
島田道代……………6



10月1日

老健(サンビューぐんま)
リニューアル
オープン

社会保険 群馬中央総合病院

〒371-0025

前橋市紅雲町1丁目7番地13号

TEL.027-221-8165 FAX.027-224-1415

診察、検査の予約は**地域医療連携課**へ

TEL. 027-223-1373(直通)

FAX. 027-223-1374(直通)



地域連携・総合企画センター開設のお知らせ

地域連携・総合企画センター長 内藤 浩

地域連携は当院運営の大事な柱の一つであり、以前より積極的に取り組んでまいりました。今回、より機能的な連携を構築するために、連携室の機能を強化し「地域連携・総合企画センター」を立ち上げました。当院が地域の基幹病院としての機能を果せるよう、今後当センターを中心に、さまざまな取り組みをしてまいります。以下簡単にセンターの紹介をさせていただきます。

センターは従来の地域連携室に医療福祉相談室と医学資料管理課を統合して発足いたしました。患者さんの受け入れから退院までを総合的に把握できるように、医師、看護師、MSW、事務からなる多職種のチームで、総勢14名で構成されています。

センター設置の第一の目的は、スムーズな地域連携です。地域の先生方が当院に患者さんをご紹介いただく際に、できる限りお手数やお時間をかけなくてすむよう、さまざまな改善を行なっております。その第一歩として、ご紹介に対して速やかに対応できるように、連携室の機能、権限を強化いたしました。空床や検査（CTや内視鏡など）の予約状況をセンターで把握しておき、紹介医の先生がたからのご依頼を、お待たせすることなくお受けすることができます。

センターではまた、さまざまな情報発信をおこないます。パンフレットの作成や公開講座の開催などをとおして、当院で行なっている先進医療や専門的な医療、たとえば寺内副院長の「膝の外科」、伊藤産婦人科主任部長の「生殖医療」、桐山医長の「早期胃がん、大腸がんの内視鏡切除」などを、登録医の先生方や市民の方々に広報してまいります。

今後ますます高齢化社会が進む中で地域医療を守っていくためには、医療機関や介護福祉施設の有機的、効率的な連携が不可欠です。当センターは地域医療のコーディネーターとなれるよう、よりよい連携づくりに取り組んでまいります。問題点、改善すべき点等ありましたら、忌憚ないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

地域連携・総合企画センター 組織図

平成23年12月現在

地域連携・総合企画センター		
センター長 内藤 浩		
医療福祉 相談室	看護支援室	地域連携・ 総合企画課
係長 佐野間寛幸	係長 須田 旬子	課長 八木 弘充
係員 阿部美那子		課長補佐 沼辺 直美
松本真唯子		課長補佐 松浦 敬宣
		係長 小針 尚子
		係員 田所 景子
		パート 千葉 幸恵
		派遣 増己 金井垂珠沙



地域連携・総合企画センタースタッフ

大腸内視鏡の直接予約方法

当院では、下部内視鏡検査のご予約をお電話にてお取りしております。予約日当日に、下部内視鏡検査を施行することができます。予約方法は、下記の手順となりますので、ぜひご利用ください。

メリット

- ◆ 経験豊かな内視鏡専門医、消化器専門医が常勤しています。
- ◆ 消化器内視鏡技師等の専門スタッフがサポートいたします。
- ◆ 県内トップレベルの実績となっています。
- ◆ お仕事をお持ちの方は、検査を予約日当日に行なえることで、仕事を休む日が少なく済みます。(事前説明のためにご来院していただく必要はございません。)

検査までの流れ

① 予 約

まずはお電話を

完全予約制となっておりますので必ず事前に、お電話にて予約をお取りください。

地域医療連携室

TEL 027-223-1373

FAX 027-223-1374

受付時間：8:30～18:00

- ・ 予約後、患者様情報を地域医療連携室までFAXお願いいたします。
- ・ 予約票を10分以内にFAXさせていただきます。

ご希望の医療機関様には、申込書を郵送させていただきますので、地域医療連携室までお問い合わせください。

② 紹介状作成・準備

検査前日眠前に服用する**プルゼニド(12mg)3錠**の処方をお願いします。

便秘の患者様は、注意事項に従って、処方していただくようお願いいたします。

注意事項 ・ 便秘の患者様

下剤服用	なし	プルゼニド(12mg)3錠 【検査前日眠前】の処方
	あり	常用薬のほか ラキシベロン液 0.75%(10ml)1本 【検査前日朝】とプルゼニド(12mg) 3錠【検査前日眠前】の処方

- ・ **抗凝固剤服用**の患者様について
検査日よりさかのぼって、**休薬の指示**をお願いいたします。

③ 検査当日

- ・ 医師より診察があります。
- ・ 採血をし、9:00頃より前処置薬服用していただきます。
- ・ 13:00頃より、検査を開始します。
検査の順番は便の洗浄度で決定します。

- ・ 受付場所：総合受付①窓口
- ・ 来院時間：8:30
- ・ 持 ち 物：紹介状・保険証
予約票・おくすり手帳(お持ちの方)

※フローシートをご確認ください。

右記に該当する患者様は、一度
外来受診をおすすめしております

- 80歳以上の患者様
- 排便コントロール困難な患者様

♪ 詳しい資料をご希望の医療機関様は、地域医療連携室までご連絡ください。
患者様用予定表および注意事項・休薬の目安をお送りさせていただきます。

大腸内視鏡フローシート

1. 通常患者

- ① 大腸内視鏡検査希望。
▼
- ② 当院へ大腸内視鏡検査の予約TEL or FAX。
▼
- ③ 紹介状作成、抗凝固剤服用・便秘の確認。
(抗凝固剤服用患者→2 便秘患者→3)
▼
- ④ 注意事項説明、別紙(大腸内視鏡検査を受ける・受けられる患者様へ)を参照下さい。
*検査前日に服用するプルゼニド(12mg)3錠の処方をお願いします。
(検査薬として保険請求が可能です。)
▼
- ⑤ 検査当日来院(8:30までに)。来院後医師より診察があります。
▼
- ⑥ 採血(血算・PT)をし、9時頃より前処置薬服用開始。
▼
- ⑦ 13時頃より検査開始、終了後帰宅。
*検査の順番は便の洗浄度で決定します。

2. 抗凝固剤服用患者

薬品確認

- (1) 紹介元より処方の場合
薬品名確認後紹介状への記入をお願いします。
- (2) 紹介元以外での処方の場合
本人 or 処方病院へ薬品名の確認後、紹介状への記入をお願いします。

▼
薬品確認後、検査予約日よりさかのぼり休薬の指示をお願いします。

* 休薬日の記載もよろしくお願いします。

3. 便秘患者

服用薬品確認

- (1) 下剤を服用していない患者
プルゼニド(12mg)3錠、
検査前日眠前内服服用。
- (2) 下剤を服用している患者
常用薬+ラキソベロン液0.75%
(10mg)検査前日朝服用
プルゼニド(12mg)3錠、
検査前日眠前内服服用。

リプロダクションセンター開設のお知らせ

リプロダクションセンター長 伊藤理廣



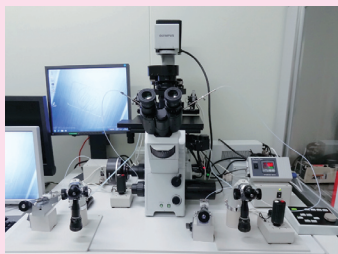
採卵室



前室の安静用チェア



個別培養が可能な最新式培養器



顕微授精用装置



取り換え防止装置



培養室全景

2011年10月にリプロダクションセンターがオープンしました。

このセンターでは不妊症と不育症の治療をトータルに行い、患者さんの挙児の希望を叶えるべく取り組んでいきます。

1978年にイギリスでエドワーズとステプトウにより初の体外受精児が誕生して以来、世界各国でも体外受精児の誕生が報告されてきました。その功績により2010年エドワーズはノーベル賞を受賞しました。日本では1983年に初の体外受精児が誕生し、今現在は、日本国内で年間20000人以上の赤ちゃんが、体外受精によって誕生しています。これはほぼ50人に1人の赤ちゃんが体外受精による出生児であるということになります。

当院の特長

当院は、日本生殖医学会認定の生殖医療専門医と生殖医療コーディネーターが患者さんの相談に乗ることができる県内唯一の総合病院です。不妊カウンセラーも女性相談室を通して、皆さんの相談に乗らせていただいております。

不妊治療について

不妊治療については、これ迄、タイミング指導、人工授精、排卵誘発剤在宅自己注射、腹腔鏡による多嚢胞性卵巣多孔術＋卵管色素通水に積極的に取り組んで参りました。患者さんの更なる要望に応えるべく、このたびリプロダクションセンターを創始し、清浄度の高い培養室、採卵室を外来に竣工しました。ここでは最新の体外受精機器を導入し、顕微授精、胚凍結を含めた生殖補助医療技術によるオールラウンドな治療を開始しました。

体外受精に関する一連の治療は日本産科婦人科学会の会告に基づいて行います。胚の培養は経験豊富な哺乳動物卵子学会認定の胚培養士が行います。

胚の培養にあたっては、最新の取り換え防止システムを導入し、細心の注意を払って行います。培養器は常時コンピュータで管理され、異変時は医師、胚培養士に即時に通知される仕組みとしました。

不育症について

不育症とは、妊娠するものの、流産や死産を繰り返し、出産にこぎ着けられない状態のことをいいますが、原因が多岐に亘るため、十分な検査と、最適な治療が求められます。経験豊かなスタッフが治療にあたります。

総合病院のメリットを生かして、妊娠から出産、新生児の管理を一貫して行うべく、スタッフ一同精進を重ねて参ります。

外来受診について

不妊・不育の初診は月、木、金の午前中に行っています。医師の受診前に女性相談室にまず訪問されてみるのもよいと思います。詳しくは、産婦人科外来にお問い合わせください。併せて、病院のホームページもごらんください。検査のなかには、抗ミューラー管ホルモン (AMH) などの保険適応外検査も含まれますし、人工授精、体外受精は保険適応がないため、自費診療となります。県や市町村によって、助成制度がそれぞれありますので、詳細は行政にお訪ねください。

増えている糖尿病患者

糖尿病療養指導士・外来看護科長 島田道代



患者会講演会



患者会運動療法



糖尿病教室



糖尿病療養指導士

糖尿病が疑われる人は、10年前の1997年と比べ約1.3倍に増え、増加ペースが加速しています。厚生労働省の「2007年国民健康・栄養調査」では、糖尿病が強く疑われる人や可能性を否定できない「予備群」を合わせると2210万人と推計され、40歳以上の3～4人に一人が糖尿病になるといわれています。

糖尿病サポート委員会の活躍

北原副院長を中心に日本糖尿病療養指導士(CDE)が14名(薬剤師2名 臨床検査技師1名 管理栄養士1名 看護師10名)おり、サポート委員会を運営しています。

活動としては、CDEが連携して入院患者様対象に糖尿病指導を行っています。「糖尿病とは」から始まり栄養・薬剤・運動・検査・フットケアについて指導を行っており、1時間の講義の後の質疑では患者さんからたくさん質問があり有意義な時間となっております。そして、入院から外来への継続したケアが出来るよう援助しています。

外来では、フットケア外来を水・金曜日の午後予約制で行っており足の手入れや観察方法・正しい爪の切り方・靴の選び方等の指導を行っています。

院内糖尿病友の会「あかねぐもの会」においては、運動療法やバイキング形式の食事会などの企画・運営を行っています。また、月に1回の前橋公園におけるウォーキングでは、会員同士の交流が図られ、良い情報交換の場となっているようです。

糖尿病教育入院

クリニカルパスによる1週間・2週間の他2泊3日の短期入院も始めました。

「糖尿病について教育を受けたいが1週間も仕事が休めない」「以前に受けたことがあるが再度学習したい」という患者さんのために短期での受け入れを行っています。学習内容が凝縮されており、3日間で覚える事がたくさんあり大変との声も聞かれますが、成果は上がっております。

是非糖尿病患者でお困りの方ご相談ください。お待ちしております。

糖尿病教育入院スケジュール表（患者用）

号室	患者氏名	男・女	担当医師	入院日	年	月	日	担当看護師	退院日	年	月	日
入院1日目 / (曜日)				入院2日目 / (曜日)				入院3日目 / (曜日)				
糖尿病教育入院のパンフレットを配ります 食品交換表の購入をしてください（1階売店） 運動しやすい衣類、靴を用意してください				6時	起床			6時	起床			
				7時30分	ナースステーションで体重測定をします			7時30分	ナースステーションで体重測定をします			
				8時	血糖測定 空腹時血糖を測定します			8時	血糖測定 空腹時血糖を測定します			
				9時	朝食 食事内容をノートに記載します			9時	朝食 食事内容をノートに記載します			
9時	来院			9時	運動療法 運動コースを散歩します			9時	糖尿病チェックシートの記入			
10時	血糖検査をします（2階中央処置室） 眼科受診があります（2階眼科外来）			10時	血糖測定 食後2時間の血糖値を測定します			10時	糖尿病ビデオ学習⑤、⑥（指導室）			
11時	フットケアについての説明があります （内科外来看護師）			11時30分	血糖測定 昼食前血糖を測定します			11時30分	血糖測定 昼食前血糖を測定します			
12時	入院オリエンテーション（病棟担当看護師）			12時	血糖測定 食後2時間の血糖値を測定します			12時	血糖測定 食後2時間の血糖値を測定します			
13時	昼食			13時	運動療法 運動コースを散歩します			13時	昼食 食事内容をノートに記載します			
14時	運動療法指導（病棟担当看護師） 運動についての説明があります			14時	血糖測定 食後2時間の血糖値を測定します			14時	退院指導			
15時	栄養指導 食事療法の説明があります 食品交換表の読み合わせ（管理栄養士）			15時	血糖測定 食後2時間の血糖値を測定します			15時	退院後と次の外来診察日の説明があります			
16時	糖尿病ビデオ学習①、②（指導室）			16時	血糖測定 夕食前血糖を測定します			16時	退院おめでとうございます これからは月に一度は診察を受けて 血糖値のコントロールをしていきましょう			
17時30分	薬剤指導 薬とインスリンの説明があります 自己血糖測定のやり方の説明があります 検査データの読み方の説明があります （臨床検査技師）			17時30分	血糖測定 夕食後の血糖値を測定します			17時30分	糖尿病また、療養指導内容についてご不明な点がございましたら、 ご連絡ください			
18時	血糖測定 夕食後の血糖値を測定します			18時	夕食 食事内容をノートに記載します			18時	糖尿病また、療養指導内容についてご不明な点がございましたら、 ご連絡ください			
	夕食 食事内容をノートに記載します			19時	血糖測定 食後2時間の血糖値を測定します			19時	糖尿病また、療養指導内容についてご不明な点がございましたら、 ご連絡ください			
				20時	血糖測定 食後2時間の血糖値を測定します			20時	糖尿病また、療養指導内容についてご不明な点がございましたら、 ご連絡ください			

社会保険群馬中央総合病院 2009年11月作成